

一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究所

# やんばる環境学習 プログラムガイド



# 目次

目次	P1
<b>ウミガメ</b>	
「ウミガメってどんな生き物？」 / 幼～小学2年生	P2
「ウミガメの一生」 / 小学3～中学3年生	P3
<b>サンゴ</b>	
「サンゴとサンゴ礁を知る」 / 小学1～2年生	P4
<b>イノー</b>	
「イノーの環境と生き物観察」 / 小学3～中学3年生	P5
<b>有孔虫</b>	
「有孔虫の観察」 / 小学4～6年生	P6
「有孔虫の観察と実験」 / 中学1～3年生	P7
<b>漂着物</b>	
「漂着物ってなんだろう？」 / 幼～小学6年生	P8
「漂着物をさがしにいこう」 / 小学3～6年生	P9
「海ごみとマイクロプラスチック」 / 小学3～6年生	P10
<b>キャリア教育</b>	
「各種講演会」 / 中学・高校・大学生	P11
プログラム実施例	P12
申し込み方法	P13

# テーマ:ウミガメ

対象 年齢	幼稚園	小学生						中学生		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3

## ウミガメってどんな生き物？



目的	ウミガメはどんな生き物か？沖縄で産卵するウミガメと、周りの環境について興味を持つ。				
内容	①ウミガメクイズ（形態や生態に関すること）				屋内
	②幼体を用いて形態を観察する				
	③気づいたことを発表する				
	④ウミガメが産卵する場所について学ぶ				
定員	30名		時間	45分	
				屋内	45分
				野外	-
回数	1回		対象教科	生活、総合	
実施場所	美ら島自然学校	○	各学校で用意するもの	筆記用具	
	各学校	○			
費用	無料		備考 (使用教材等)	ワークシート	

## テーマ:ウミガメ

対象  
年齢

幼稚園

小学生

中学生

1

2

3

4

5

6

1

2

3

# ウミガメの一生



目的	ウミガメの産卵とふ化、成長するまでの流れ（生活史）を学び、理解を深める。				
内容	①ウミガメの形態やその特徴について学習する			屋内	90分
	②沖縄近海に生息するウミガメ類について学習する				
	③産卵、ふ化等の生態について学習する				
	④ふ化幼体と成体を比較する（標本等利用）				
	⑤気づいたことを発表する				
定員	80名	時間	90分	屋内	90分
				野外	-
回数	1回	対象教科	国語、理科、総合		
実施場所	美ら島自然学校	○	各学校で用意するもの	筆記用具	
	各学校	○			
費用	無料	備考 (使用教材等)			

## テーマ:サンゴ

対象 年齢	幼稚園	小学生						中学生		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3

# サンゴとサンゴ礁を知る



目的	サンゴって何？サンゴがすむ海はどんな海？沖縄を取り巻く海の生き物と環境を詳しく学ぶ。さらに、海ごみなどの環境問題について沖縄の現状を知る。				
内容（A～Eの中から選択も可能）	A. サンゴの体やくらし、サンゴが作るサンゴ礁とその生態系を知る	屋内	（10～20分）		
	B. 骨格標本/生体の観察を通して、どのように海で暮らしているのかを学ぶ	屋内/野外	（10～20分）		
	C. 砂浜で、砂や打ち上げられたサンゴ骨格（サンゴ礫）の観察をする	野外	（10～20分）		
	D. 砂浜でゴミを拾い、持ち帰って分別する	野外	（10～20分）		
	E. 今、海でどのようなことが起きているのかを知る、対策を話し合う	屋内	（10～20分）		
定員	10～30名	時間	120分（延長・短縮可能）	屋内	60分
				野外	60分
回数	1回	対象教科	理科、総合		
実施場所	美ら島自然学校	○	用意するもの	筆記用具	
	各学校	○			
費用	無料	備考 （使用教材等）	サンゴ骨格・生体（内容によって変更） 漂着ゴミサンプル * 野外部分は室内作業に変更可		

テーマ:イノー

対象 年齢	幼稚園	小学生						中学生		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3

# イノーの環境と生き物観察



目的	野外観察を通して、イノーの環境とそこに生息する生き物との関わりを考え、環境保全への意識を育む。					
内容	①イノーの地形、生き物、観察マナーや安全上の注意について学ぶ			屋内		
	②自然学校前の海岸で、環境や生き物の観察を行い、発見した生き物を記録する			野外		
	③発見した生き物や環境の発表、気づきの発表をする			屋内		
定員	30名		時間	135分	屋内	30分
					野外	105分
回数	1回		対象教科	理科、総合		
実施場所	美ら島自然学校	○	各学校で用意するもの	筆記用具、飲み水、帽子、ワークシート 観察道具 (割り箸、カップ、軍手等)		
	各学校	△				
費用	無料		備考 (使用教材等)	所定の手引書・観察シートを利用 (要) 安全監視スタッフ		

# テーマ：有孔虫

対象 年齢	幼稚園	小学生						中学生		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3

## 有孔虫の観察



目的	小さな生き物へ興味を持ち、生物と環境との繋がりを考える。				
内容	①星の砂とは何か解説を聞き、学習する				屋内
	②飼育水槽を用いて、有孔虫の採集を模擬体験する				
	③顕微鏡を用いて有孔虫を観察する				
	④形態や色など、気づいたことをまとめ、発表する				
定員	20名		時間	90分	
				屋内	90分
			野外	-	
回数	1回		対象教科	理科、総合	
実施場所	美ら島自然学校	○	各学校で用意するもの	筆記用具	
	各学校	○			
費用	無料		備考 (使用教材等)	顕微鏡使用 石灰岩標本使用	

## テーマ：有孔虫

対象 年齢	幼稚園	小学生						中学生		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3

# 有孔虫の観察と実験



目的	顕微鏡を使って生物の細部を観察し、実験を通して有孔虫の殻について考えることで、生物と周辺環境の関わりについて考える。				
内容	①有孔虫についての解説を聞き、生態や形態を学ぶ				屋内
	②顕微鏡を用いて生体を観察する				
	③有孔虫の脱灰実験をする（予測と実験を行う）				
	④実験結果からわかったことについてまとめる				
	⑤周辺環境に見られる有孔虫の殻について学ぶ				
定員	30名		時間	100分	
				屋内	100分
			野外	-	
回数	1回		対象教科	理科、総合	
実施場所	美ら島自然学校	○	各学校で用意するもの	筆記用具	
	各学校	○			
費用	無料		備考 (使用教材等)	顕微鏡使用 石灰岩標本使用	

## テーマ：漂着物

対象 年齢	幼稚園	小学生						中学生		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3

# 漂着物ってなんだろう？



目的	漂着物を通して、身近な環境に興味を持つ。					
内容	①漂着物とはなにか学ぶ			屋内		
	②砂浜で漂着物を採集する			野外		
	③どんな漂着物があったか、一覧にまとめ紹介する					
	④漂着物を使ってフォトフレームづくりを行う			屋内		
定員	20名程度		時間	90分	屋内	50分
					野外	40分
回数	1回		対象教科	生活、理科、総合		
実施場所	美ら島 自然学校	○	各学校で 用意するもの	筆記用具		
	各学校	△				
費用	無料		備考 (使用教材等)	工作あり		

## テーマ：漂着物

対象 年齢	幼稚園	小学生						中学生		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3

# 漂着物をさがしにいこう



目的	海辺を歩いて、打ち上げられたものを観察する。自然のもの？それともゴミ？持ち帰って自分だけの標本箱を作ったり、クイズで海ごみやマイクロプラスチック問題を考える。				
内容 (A～Eの中から選択も可能)	A. 海岸をあるき、流れ着いたものを観察・収集			野外 (30分)	
	B. 屋内に持ち帰って整理・分類			屋内 (10～20分)	
	C. 拾ったもので自分だけの標本箱をつくる			屋内 (10～20分)	
	D. 海ごみクイズをする			屋内 (10～20分)	
	E. 今、海でどのようなことが起きているのかを知る、対策を話し合う			屋内 (10～20分)	
定員	10～30名		時間	120分(延長・短縮可能)	屋内 30分 野外 90分
回数	1回		対象教科	理科、総合	
実施場所	美ら島自然学校	○	各学校で用意するもの	筆記用具	
	各学校	○			
費用	無料		備考 (使用教材等)	漂着物、漂着ゴミサンプル * 野外部分は室内作業に変更可	

## テーマ：漂着物

対象 年齢	幼稚園	小学生						中学生		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3

# 海ごみとマイクロプラスチック



目的	海辺を歩いてゴミを拾い、マイクロプラスチックを探す。ゴミを持ち帰って分類し、何がどのくらい多いのか、なぜゴミが増えるのかを考える。海の環境問題について沖縄の現状を知る。			
内容 (A～Eの中から選択も可能)	A.グループに分かれ、海岸を歩いてゴミをひろう。	野外 (30分)		
	B.屋内に持ち帰って整理・分類	屋内 (10～20分)		
	C.グループごとに拾ったゴミについて発表	屋内 (10～20分)		
	D. 海ごみクイズをする	屋内 (10～20分)		
	E. 今、海でどのようなことが起きているのかを知る、対策を話し合う	屋内 (10～20分)		
定員	10～30名	時間	120分(延長・短縮可能)	屋内 : 30分 野外 : 90分
回数	1回	対象教科	理科、総合	
実施場所	美ら島自然学校	○	各学校で用意するもの	筆記用具、軍手、地域のごみ袋、帽子、飲み物、運動靴など
	各学校	○		
費用	無料	備考 (使用教材等)	漂着ゴミサンプル * 野外部分は室内作業に変更可	

# 各種講演会



目的	美ら島財団研究所職員の仕事内容や調査研究活動について聞き、職業について考えるきっかけとする。			
内容	美ら島財団研究所職員が、調査研究や学校教育における実践などについて講演を行います。 講演題材(例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究者(飼育員)の仕事について</li> <li>・調査研究の最前線(ウミガメ、ヤシガニ、サンゴ等)</li> <li>・普及啓発活動の実践例について</li> </ul> その他、相談に応じます。			
定員	20名	時間	90分~100分	
回数	1回	対象教科	キャリア	
実施場所	美ら島自然学校	○	各学校で用意するもの	筆記用具
	各学校	○		
費用	要相談	備考 (使用教材等)		

# ○プログラム実施例

教科書に出てくる  
生き物のことが  
知りたい！

1回  
完結

ウミガメの一生(45分) 小学4年生 国語(ウミガメの命をつなぐ)

講義  
45分

- ウミガメの形態について
- ウミガメの産卵とふ化について
- アカウミガメの回遊について
- 幼体を用いた形態観察



● 終了  
感想の発表



イノーの環境と生き物観察 小学3年生 理科(身近な自然の観察)

外に出て  
活動がしたい！

2回  
完結

1日目:事前学習(90分)

2日目:イノーの生き物観察(135分)

(大潮の干潮時間に合わせて実施)

● イノーについて解説  
イノー観察のポイント



15分 ● 海岸に集合  
注意点の確認



● イノーの生き物に  
ついての解説



● イノー観察  
生き物探し  
解説



● 危険生物と対処法  
について、標本を  
用いた解説



観察  
90分

● 危険生物の標本観察

30分 ● 観察終了  
感想発表  
着替え



● 終了

● 終了

講義  
60分

標本  
観察  
30分

# ○申し込み方法

HPの「学習プログラム申し込みフォーム」に必要事項をご記入の上、お申し込みください。  
 活動時間、内容等につきましては、ご相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。  
 教室や標本の利用等もお申し込みいただけます。

活動時間を変更したい

実施回数を増やしたい

内容に〇〇を加えてほしい

ウミガメのことも  
 イノリのことも学習したい

相談OK!



申し込みフォーム

ご希望に合わせたプログラムを実施します

## ○(一財)沖縄美ら島財団 総合研究所 普及開発課

お問い合わせ時間: 9:00~18:00 (平日)

お問い合わせ

TEL: 0980-48-2266

FAX: 0980-48-2200

メール: zaidan@okichura.jp

HP: <https://churashima.okinawa/ocrc/>



## ○(一財)沖縄美ら島財団 美ら島自然学校

開校時間: 10:00~17:30

休校日: 毎週月曜日、年始

※月曜日が祝日等の場合は開校し、翌平日に振替休校

お問い合わせ

TEL: 0980-55-9045

FAX: 0980-55-9044

メール: [churashizen@okichura.jp](mailto:churashizen@okichura.jp)

HP: <https://churashima.okinawa/churashizen/>



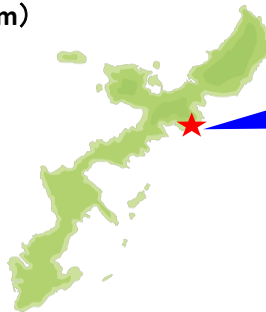
## ○美ら島自然学校へのアクセス

〒905-2262 沖縄県名護市嘉陽41  
 那覇空港から車で104分(96.9 km)

※沖縄自動車道使用

許田ICから車で30分(23km)

宜野座ICから車で31分(24km)



美ら島自然学校に臨む風景

